



平成28年

別府市特別功労表彰

11月3日「文化の日」、別府市は市政の振興、公共の福祉増進や文化の向上などに大きく貢献された9名1団体の功績をたたえ表彰しました。今回、受章された方々を紹介します。(順不同)



村津 忠久 さん

長年にわたり、「べつぶ鶴見岳一気登山大会」を開催し、本市の観光振興に多大な貢献をされた。日本唯一となる同大会を発案し、登山道の整備に尽力。昭和63年の開催以来、べつぶ鶴見岳一気登山実行委員長を務め、現在は同永久名誉実行委員長として運営にあたられている。



入江 秀利 さん

長年にわたり、別府市文化財保護審議会委員として、本市の文化財の調査研究、保護活用に尽力された。近世地方文書の調査による「別府市古文書資料集」の編集、本市の江戸時代の古文書を集大成した「銭瓶石騷動記録」などの著作により、地域史の発展に貢献されている。



井村 節子 さん

長年にわたり、市営温泉「別府海浜砂湯」の砂掛けさんとして従事、「砂掛けマイスター」第1号として活躍された。おもてなしの心をもって利用者に接し、多くの砂湯ファン、リピーターを生み出すことに貢献。外国人観光客を迎えるため英会話を学び、国際観光温泉文化都市別府の顔として本市の観光振興に尽力されている。



大鍛治 光子 さん

長年にわたり、別府市総合教育センター補導員を務め、月2回の補導活動、年2回の愛のパトロールなどを行い、本市の青少年の健全育成に尽力。平成16年度から別府市総合教育センター補導員協議会会長を務め、同協議会の中心となり活動を推進し、次世代を担う青少年育成に貢献されている。



溝部 仁 さん

長年にわたり、私学振興に努め、海外の大学との単位互換制度、グローバル人材の育成、国際交流に寄与。また、産官学連携による新たな学習システムの基盤整備や、「温泉コンシェルジュ」育成のカリキュラムづくりなど、温泉地を牽引する専門人材の育成に尽力され、本市の地域活性化に貢献されている。



西 謙一 さん

長年、別府商工会議所、別府市観光協会要職を歴任、平成10年に別府つるりん通り商店街振興組合理事長に就任し、地域経済発展に寄与。平成7年に県ニュージランド友好協会会長に就任、平成11年には姉妹都市ロトルア市から名誉市民の称号を付与され、本市の国際交流に貢献。また、別府市ラグビー協会会長として、ラグビーW杯キャンプ誘致に取り組まれている。



竹村 恵二 さん

地球熱学、火山学の権威であり、熊本地震の際、常時観測火山に指定されている鶴見岳・伽藍岳を観察し、別府市災害対策本部会議において地震の特徴やメカニズム、火山への影響などを解説。本市の災害対策の方針決定に寄与された。平成26年に「鶴見岳・伽藍岳火山防災協議会」の委員に就任し、火山噴火時の避難対策構築に貢献されている。



河野 幸治 さん

長年にわたり、小児科医として児童生徒の健康管理、治療などに献身的に奉仕され、地域住民の厚い信頼を受けている。平成6年から別府市医師会理事として、医師会活動を通して本市の保健行政に寄与。平成18年から10年間、別府市医師会会長を務め、別府市保健センターの設立に貢献されている。



木谷 隆行 さん

2016年リオデジャネイロ・パラリンピックのポッチャ競技において、日本代表チーム「火ノ玉ジャパン」の選手として出場し、日本初の銀メダルを獲得された。2008年北京・パラリンピックでも日本代表チームとして活躍され、同競技の普及促進、障がい者スポーツの発展に貢献されている。



特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT 代表理事 山出 淳也 さん

平成17年に本市を活動拠点に設立され、現代芸術の紹介、教育普及活動、市街地空き店舗リノベーション事業など、日常的に文化芸術活動を行い、多様性の地域社会を支える文化基盤の創出に寄与。平成21年から「混浴温泉世界」「ベップ・アート・マンス」を開催し、多くの人が現代芸術に触れる機会や環境を提供。本市における新たな芸術文化の創出、地域活性化に貢献されている。

別府市功労表彰

別府市では11月3日、自治行政の振興や公共の福祉などに貢献された方を表彰する「別府市功労表彰」を行いました。
今回受賞された方々は次のとおりです。(敬称略・順不同)

自治部門

塩地奎三郎 長野也典
 田原康行 友永丈一
 廣田巖 山本國雄
 林道弘 友永良子
 麻生昭一

公共福祉部門

河村貴雄 梶原哲雄
 平野英壽 山口巧
 二宮孝詞 阿部チヨノ
 日高清志 太田道子
 池尻典子 平松幹雄
 後藤陽子 九子寿喜子
 近藤美穂 田原京子
 加藤治男 荒金収二
 栗田弘 彌田誠一
 桑原誠二 久保晴彦
 裏田泰正

教育・文化・スポーツ部門

山下充江 渡邊祥夫

市民活動部門

中川前 池上けい子
 宮崎了三 近藤徹也
 特定医療法人社団春日会
 黒木記念病院

「臨時福祉給付金」・「年金生活者等支援臨時福祉給付金(障害・遺族基礎年金受給者向け)」の申請はお済みですか?

申請受付期間は平成29年1月31日(火)までです。支給対象となる可能性のある人には、課税課から9月上旬にお知らせと申請書を郵送しています。

支給対象者

●臨時福祉給付金：
平成28年度分の市民税(均等割)が課税されていない人が課税されている人の税法上の扶養親族等や生活保護受給者などは対象外。

●年金生活者等支援臨時福祉給付金(障害・遺族基礎年金受給者向け)：

右記の臨時福祉給付金の対象者で、平成28年5月分の障害基礎年金または遺族基礎年金を受給している人

※ただし、年金生活者等支援臨時福祉給付金(高齢者向け)の支給を受けた人は対象外となります。

申請期限までに申請がなかった場合は受給できなくなりますので、お早めに申請をお願いします。

受付会場

市役所5階臨時福祉給付金事務局

受付時間 9時～17時

(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

※詳しくは市報9月号6ページと市ホームページに掲載しています。

申請・問

臨時福祉給付金事務局

☎(21)1533



封筒の9月送す。薄緑色で、10月上旬に送る。

被災住宅再建資金支援制度のご案内

平成28年熊本地震で住宅が被災し、資金借入を行って住宅の建設・購入や補修を行う被災者に対し、日本財団と大分県による「平成28年熊本地震に係る災害支援合意」に基づき「日本財団がまち基金」を設立し、負担軽減のための支援(利子補給)を行います。

詳しくは左記へお問い合わせください。

問 大分県建築住宅センター

☎097(537)0300
 FAX097(537)0395

別府市短期集中予防サービスマネジメント事業利用者募集

別府市では、体力や筋力の低下などにより外出や家事などの日常生活に不安のある高齢者を対象に、リハビリの専門職員などが通所施設(送迎あり)や自宅訪問にて、体力・筋力の向上や生活動作の改善に向けた機能訓練や運動指導を少数数制の短期集中で行うサービスマネジメントを、法人に委託し市内4箇所で開催しています。

利用対象者

介護保険の要支援1・2の認定を受けている人、若しくはそれに相当する状態(事業対象者)と判定された65歳以上の人
 利用者負担
 通所1回につき500円
 (3か月程度・週1回利用で、12回まで利用可)
 訪問1回につき300円
 (右記通所期間中に組み合わせることで4回まで利用可)

申 高齢者福祉課

☎(21)1463

【実施施設一覧】

通所曜日	通所サービス提供時間	通所施設等名称(所在地)	サービスを運営する法人・問合先
火曜日	10:30～14:30 ※昼食あり1食400円	茶寿苑地域交流ホール (北鉄輪)	社会福祉法人 恵愛会 ☎66-3307
金曜日	9:00～12:00	野口ふれあい交流センター (野口元町)	合同会社元気づくり支援研究会 ☎080-6426-8125
土曜日	9:00～12:00	みょうばんクリニック「あおぞら」 (明礮)	社会福祉法人農協共済 別府リハビリテーションセンター ☎67-3226
	9:00～12:00	リハビリ特化型デイサービス つるりん通り一燈園(馬場)	社会福祉法人 一燈園 ☎24-6633